



流しそめんに舌鼓



マイはし作りに挑戦



ジャガイモの収穫



バウムクーヘン作りに挑戦



みんなで餅つき



農家の方と一緒にバーベキュー



特集

青菅小グリーンスクール

里山の環境、 人との関わりを学び、 暮らしを体験する



受け入れを行った農家の皆さん

千葉県佐倉市の青菅小学校六年生四十八人は七月十三日から十五日の三日間、村内の農家で民泊や農業体験をしました。

総務省と農林水産省、文部科学省の「子ども農山漁村交流プロジェクト」の一環で鯉川村農村体験交流協議会と千葉県南農林事務所の主催。落合地区と岩野草地区の十二戸の農家が、子どもたちの受け入れをしました。

初日は、村農業者トレーニングセンターで開校式が行われ、奥貫村教育長がいさづを述べました。子どもたちは農家の皆さんと対

面した後、落合地区と岩野草地区に分かれて、「マイはし作り」を体験しました。

二日目は、「ほっとはうす・さめがわ」で「火おこし」について学び、おこした火を使って、バウムクーヘンを作りました。

昼食を食べた後は、各農家へ移動。畑の手入れや野菜の収穫などを体験しました。

最終日は、鹿角平観光牧場でお世話になった農家の皆さんとバーベキューを楽しみました。

体験メニューなど

1日目 開校式、オリエンテーション、マイはし作り、ホームステイ

2日目 火おこし体験、バウムクーヘン作り、昼食（流しそめん）、農業体験（野菜の収穫、畑の手入れ、家畜の世話）、交流会（餅つき）、ホタル鑑賞、ホームステイ

3日目 おにぎり作り体験、昼食（バーベキュー）、閉校式